新潟 市政だより

発行所 新潟市役所
新潟市西堀通六番町866/3
電話代表(3)2111番
新潟市長
発行人 渡辺浩太郎
新潟市中野山192番地
編集人 賀谷 脩
新潟市日ノ出町一丁目118番地
印刷所 文明堂印刷所
新潟市西堀前通4
電話 (2) 8128番
毎月一回5日発行
定価 一部3円

人口動態（11月中）

人口	男	149,242
	女	155,504
出生		389件
死亡		173件
死産		50件
婚姻		330件
離婚		28件

昭和三十五年の 地盤沈下対策への抱負

◇……″地盤沈下対策″これは私たち新潟市民にとっての一大関心事でありますが、新年を迎えるにあたり、この問題と……◇

◇……正面から取り組んでいる市土木部長斎藤甲哉さんに、色々苦心談やら抱負なりをうかがってみました。……◇

「新潟市の地盤沈下問題も、県、市あげてこれに取り組んでからはや三年目を迎えます。新潟港周辺を中心とした沈下の一番激しい地域の沈下は、一ケ年五十センチと言われ、このまま沈下を続けると新潟の市街地は遠からず古町附近まで海面の下になるとか、そのため新潟市の移転説など、様々な憶測や流言飛語が流布されたこともありました。

そんななかで私共は、市長を中心として議会の皆様と共々力を合せて

1 沈下の原因を探究してこれを排除し、まず沈下を早くとめること。

2 海水の侵入を防ぐため防潮施設をつくり、従来しばしば浸水騒ぎを起している地域には、ちくじポンプによる排水施設をつくること。いっぽう突堤や港の岸壁を高くして港の機能を回復すること。

以上三大目標に向って微力ながら努力してまいりました。これらの調査と工事の実施は、国と県と市で費用を出しあってやっており、三十三・三十四の二ケ年で約十七億の費用が投ぜられましたが、まだ被害地全域には手が廻っておらないというのが現状です。

それでは、いま沈下の状態はどうなっているか、新潟市の今後は大丈夫なのかどうか、ということが、市民の皆様の一番懸念されておられるところでしょうが依然として沈下はとまっておりません。ただ今年三月以降、山ノ下の地層の収縮を計る沈下観測井の記録は、漸減傾向がみられ、本年十一月の平均は、一番沈下の激しかった昨年十一月の平均にくらべてみると四〇パーセント程度であるように見受けられます。この沈下の漸減が今年二月以降のガス水汲上制限量（二月以降、数次にわたる規制、最終十月末日）と期間的に相関している結果があらわれている様に見受けられます。この観測井の成果と、更に沈下量の判断資料として、地理調査所に委託した地表の沈下測量が三十二年以来、半年毎になされておりますが、これがいま中間的に実施されており、更に二月～三月に本格的に実施されますので、その結果及びその他の調査研究資料を参酌し、新潟の沈下はどこまで喰いとめ得るかの方向を、各界の皆様の御意見を聴きつつ判断し、原因排除による沈下終息の見透しをたてるとともに、最終的事業計画を樹立するのが新しい年の宿題であり、急がねばならない市の重大問題となってまいります。

市税は市政の原動力

沈下の応急対策事業として過去に十七億を投じ、三十五年度には四十億近い金を政府に要望しておりますが、今後の沈下量の如何によっては、百億台、あるいは数百億円の桁にも達するかも知れません。これらの費用は国も県も出しますが、市もまた大変な額を支出しなければなりませんので、市財政の将来は全く暗黒になる恐れが多分にあります。それで国の助成を沢山いただくためには、地盤沈下に特別の法律を適用してもらわなくてはならないので、いま県・市・議会関係が一丸となって、関係各省、政府のみな様に働きかけておるわけです。飛躍の途上にある新潟市は、港をもち、県都でありますので、まず沈下という悪因を絶ち、人口五十万の理想都市建設のため、明るく、強く立ち向って行くことのできるように、今後とも精進をしてまいる考えでありますので、市民皆様のご協力を御願い申上げます。」

明けましておめでとうございます

市民のみなさん さあ元気でやりましょう

新潟市長 渡辺浩太郎

昭和三十五年の門出を迎えるに当りまして謹んで皆さんの御健勝を心からお祈り申し上げます。

「一日の計は朝にあり、一年の計は元旦にあり」という言葉はいい古し、聞き古された格言ではありますが、このいい古された言葉にも新年になりますと、一種の新しさが添って参ります。

「新年」は過去のあらゆるやりそこないを帳消しにして、そしてもう一度新しい出発をする機会をわれわれに与えてくれます。「もう一度新しく」というこの正月の気分が、われわれに喜びを与え、希望を与え、新しい計画と取組む勇気を与えてくれるものと存じます。

昨年五月私は市民皆さんの絶大な御支持をいただきまして就任してからは、文字通り地盤沈下対策に明け暮れたと申しても過言ではございません。三十万市民を擁して裏日本随一を誇る都市に躍進した新潟市の前途に大きな壁となりましたのが正に当市の浮沈にかかる地盤沈下の問題でございました。この問題の解決なくして新潟市の発展はあり得ないということは、大方御承知の通りでございます。私が就任以来全力を傾注致しました所以もここにあった訳でございます。

幸い市民各位ならびに本県出身衆参、両院議員、県市議会、関係官庁初め各方面を一丸とした中央に対する運動が効を奏しまして、前途にやや明るい見とおしをもたらし得ましたことは、皆さんと共に喜びを頒つところでございます。

然しながら、情勢はなお楽観を許さぬ段階にありますので、今後とも市民各位ならびに関係皆さんの強く大きな御支援を賜りますよう切に希望してやまないものでございます。

次に日朝、国際港として大きくクローズアップされました我が新潟港から世界各国注視の下に予定通り北鮮帰国者を歓送出来ましたことは、まことに意義深く、新潟市史上特筆されるべき事業であったと存じます。帰国された方々が喜びに満ちた新年を迎えられ、今後とも幸福に過されんことを遥かに祈念してやみません。

私は新年と共に色々の夢と希望を私なりにたくさん持ち合わせております。然しながら「夢多くして実らず」であってはいけないことは申すまでもなく、常に市財政ともにらみ合わせて地味ながらも一つ一つ夢と希望の実現を積み重ねて参りたいと念願いたしております。

最後に一言申し上げたいと思いますことは、「災害は忘れた頃にやって来る」という言葉でございます。これも耳に慣れた言葉ではありますが、十分かみしめて寒禅一番皆さんと共に災害の防止に万全を期し、夢多い年といたしたいと念願している次第でございます。

四月に 新入学のお子様をもつ御家庭へ

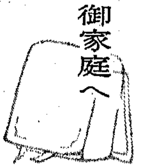
今年四月学令に達し、就学しなければならないお子様（児童）は次の年月の間に出生された方達です。

自 昭和二十八年四月二日
至 昭和二十九年四月一日

そこで新潟市教育委員会では、近日中にそれぞれ該当されるお子様達の保護者の皆様に対しまして入学通知書を発し上げますから、受取られましたならばよく姓名および生年月日等に誤りがないかどうかを確認されたうえ、指定された学校へその通知書を持参し、学校当局の指示を受けて下さい。

「姓名その他について誤記のあった場合は、勝手に書きなおすことなく、新潟市教育委員会事務局学校教育課、または各支所の学事係まで申出のうえ訂正してもらって下さい。」

なお前記のお子様の中で、盲・ろう啞者のため、普通の小学校へ就学出来ないで、しかも盲・ろう学校へ入学させたいがその手続きや学校の所在地がおわかりにならないために迷っておられる御家庭も多いことと存じますので、こうした御家庭の方々のために、次のことをお知らせいたします。



御承知のように盲・ろう児童生徒も現在では普通の子女同様就学義務制であります。

盲学校は新潟市関屋金鉢山にあって目の見えない不自由な児童、生徒が入学して居ります。

ろう学校は新潟市河渡一〇二番地にあって耳が聞えないで言葉を知らず話の出来ない児童、生徒が入学して一生懸命言葉を理解すると同時に、発声の出来る日を楽しみに勉強いたしております。

このような不幸な子供達に一日でも早く明るい生活が出来るようにと念じ、以下新潟県立新潟ろう学校の一例を参考までにお知らせいたします。

ろう学校は普通の勉強をする基礎を作るために、入学当初二年位は、言葉を教えることに全力を注ぎますので、したがって入学が遅れるほど言葉を覚える力や進歩の力が遅れますから、普通のお子様より入学を急がなければならない訳です。ところが家庭によっては、学校へ入れたいがまだ年令が少いため、遠い処まで一人で通学させることを可哀そうだという親心から入学を延して居られる御家庭もあることと思いますが、これはかえって子供達にとって大きな不幸の原因となるのです。

そこで早急に入学の手続をすませるようにお勧めする次第です。

入学手続一切の御照会については、新潟県教育委員会学校教育課

〜成人式の御案内〜

一月十五日は「成人の日」の祝日に当りますので、満二十才（昭和十四年一月十六日より昭和十五年一月十五日までの間に生れた方）の皆様方をお招きして、その前途を祝福申し上げたいと存じます。

日時 一月十五日
会場 新潟市公会堂
式次第
1 成人式
①開式宣言②国歌斉唱③式辞④祝辞⑤答辞⑥閉式宣言
2 記念行事
①記念講演 評論家 村上兵衛先生
②合唱 新潟大学グリークラブ 指揮 山田常三先生

なお招待時間は下の通りです。

第一回	午前九時～十二時	坂井輪、曽野木、両川、大江山、石山、大形、南浜、松浜、鳥屋野、濁川、内野地区
第二回	正午～午後三時	山ノ下、沼垂、入舟地区および勤務団体所属者
第三回	午後三時～五時	本庁、[illegible]

北鮮帰還第一船無事出航

市民の皆様ありがとうございました

昭和三十四年十二月十四日北鮮帰還第一陣は、それぞれの期待に胸をふくらませ、十米の強風の吹くなかを午後二時クリリオン号で、三十分遅れてトボリスク号であいついで故国へ向い、十六日午前無事清津港に到着いたしました。

新潟市の滞在日数はごくわずかではありましたが、その間の市民の皆様から寄せられました真しなる心づくしにたいし、朝鮮民主主義人民共和国中央赤十字協会、朝鮮対外文化協会、統一祖国民主戦線中央委員会の三団体から北村知事、渡辺市長宛に感謝状が寄せられました。今後とも帰還者の方々が無事故国へ帰ることが出来ますよう積極的に協力いたしましょう。

愛煙家のみなさん タバコは市内で買いましょう

内野町 新潟市に合併

一月十一日を期し、内野町が新潟市に合併されますが、内野町とは、どんな町なんだろうとお考えの皆さんも多いことと思います。

そこで次のことを参考といたしまして更に五十万都市建設のために協力いたしましょう。

内野町の町勢

内野町は人口二万二千、面積十六・五平方粁の農・商・工・漁業を主体とし、また俸給生活者の比較的多いところであり、あたかも大都市の縮図の様な町であって、昭和二十八年十二月の火災を契機として都市計画による近代都市造成へと進んでおります。

米は穀倉越後の重要部たる西蒲原平野を擁し、西北一帯は鯛・鰤・鮭その他の漁場五十嵐浜を控え、春の大羽鰯の最盛期ともなれば大船団を整え、夕陽が佐渡の沖に沈む頃出漁して、明け方の暁光を浴び、へんぽんたる大漁旗を掲げて母港に帰ってくる姿は勇壮なものです。

新川河港を中心として、延々と続く海岸砂丘地帯は、ただ単に青松白砂の景勝地とし、又は海水浴場としての好適地であるばかりでなく、実に現代化学工業の原料である天然ガスの豊富な資源地帯として将来の開発を嘱望されております。一方この地帯を長年開拓利用している畑地は一千町歩におよび、菜類や西瓜の産額は県下随一であって、新潟野菜市場の蔬菜の供給地となっております。

交通機関としては、国有鉄道越後線が町を通過しておりますが、殊に内野町は国道富山線と県道弥彦線の分岐点ですので、バスは現在三十分毎に発着し、僅か二十分位で新潟市中心街まで到着することが出来ます。

町を貫流する新川は、古くから幾多の物語を秘め、文化、文政の頃、西蒲原郷の耕地に水田開発のため掘鑿した排水河川であり、郡を貫流する西川の用水とともに西蒲原美田造成に寄与したのであり、かつまたこれによって、昔からの累年の洪水との闘いを繰返していた地方農民の宿願の一部が達せられたのです。

新川両岸一帯には、昭和四年御大典記念事業として、桜が植栽され、春は爛漫たる桜花は旭光に輝き、夏は葉桜となって行人に憩の場所を与え、秋は夕陽に照り映える紅葉と変って水流に美観を添えております。

なかでも名物の四つ網の獲るはぜ・うなぎ・鯉・鮒は川料理の粋を誇り、物心有情の士の清遊を待っております。

「青少年のみなさん 強く、正しい人になりましょう」

日夜青少年の健全育成については、市民の皆様から格別の御配慮をいただき、関係者一同感謝いたしております。しかし、まだ十分とは申し難く、幾つかの問題をかかえて苦慮いたしております。これらの解決には″町ぐるみ″の愛の手が差しのべられる事が最も望ましい姿ではなかろうかと思いまして、学校と種々協議いたしました結果次のような愛のパトロールを実施いたすことになりました。

市民の皆様におかれましても、このことに御理解をいただき、なにとぞ格段の御協力を賜わるようお願い申上げます。

一、実施方法

イ、期間 年間随時

ロ、回数 毎月二回、うち一回は昼間、他の一回は夜間。ただし、長期間休みの時は別に計画いたします。

ハ、人員 四～五名（人選に関しましては各中学校に一任）。ただし、必要に応じて警察官を同行させることもあります。

ニ、実施期間 昭和三十四年十二月下旬より

ホ、対象校 一応中学校を主体にして実施いたします。

ヘ、区域 原則的には各中学校区をパトロール範囲といたしますが、問題の起り易い場所は重点パトロールといたします。

註 このことにつきましての詳しいことは、区域中学校の生活指導部の先生方にお問い合わせ願います。